

エコアクション21

# 環境経営レポート

2019年度版  
(2019年4月～2020年3月)



**Nishitetsu  
Construction**

2020年5月22日 発行



# 目 次

1. 組織の概要	-----	1
2. 認証・登録範囲	-----	2
3. 環境経営方針	-----	3
4. 環境経営目標	-----	4
5. 環境経営目標の実績	-----	5
6. 環境活経営計画及びその取組結果と評価	-----	6
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	-----	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	-----	10

# 1. 組織の概要

## (1) 事業所名、代表者氏名

西鉄建設株式会社 代表取締役 脇山 雅範

## (2) 所在地

本社 〒810-0074  
福岡市中央区大手門二丁目1番10号



## (3) 環境管理責任者、担当者氏名、連絡先

総務部長 眞鍋 紀雄  
中道 淳子

TEL 092-712-6711 FAX 092-712-5057

E-mail j-nakamichi@kensetsu-nnr.co.jp

## (4) 事業活動の内容

### 建設業

主要商品：マンション、戸建住宅、一般建築（事務所、店舗等）

URL <https://nishitetsu-kensetsu.jp>

福岡県知事 許可（特-29）第22208号

建築工事業、管工事業、大工工事業、左官工事業、とび・  
土工工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・  
ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工  
事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕  
上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、解体工事業

## (5) 事業の規模

（事業年度：4月～翌年3月）

区分	単位	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	百万円	7,200	8,337	8,116
従業員数	人	67	65	66
床面積	m <sup>2</sup>	660	660	660

## 2. 認証・登録範囲

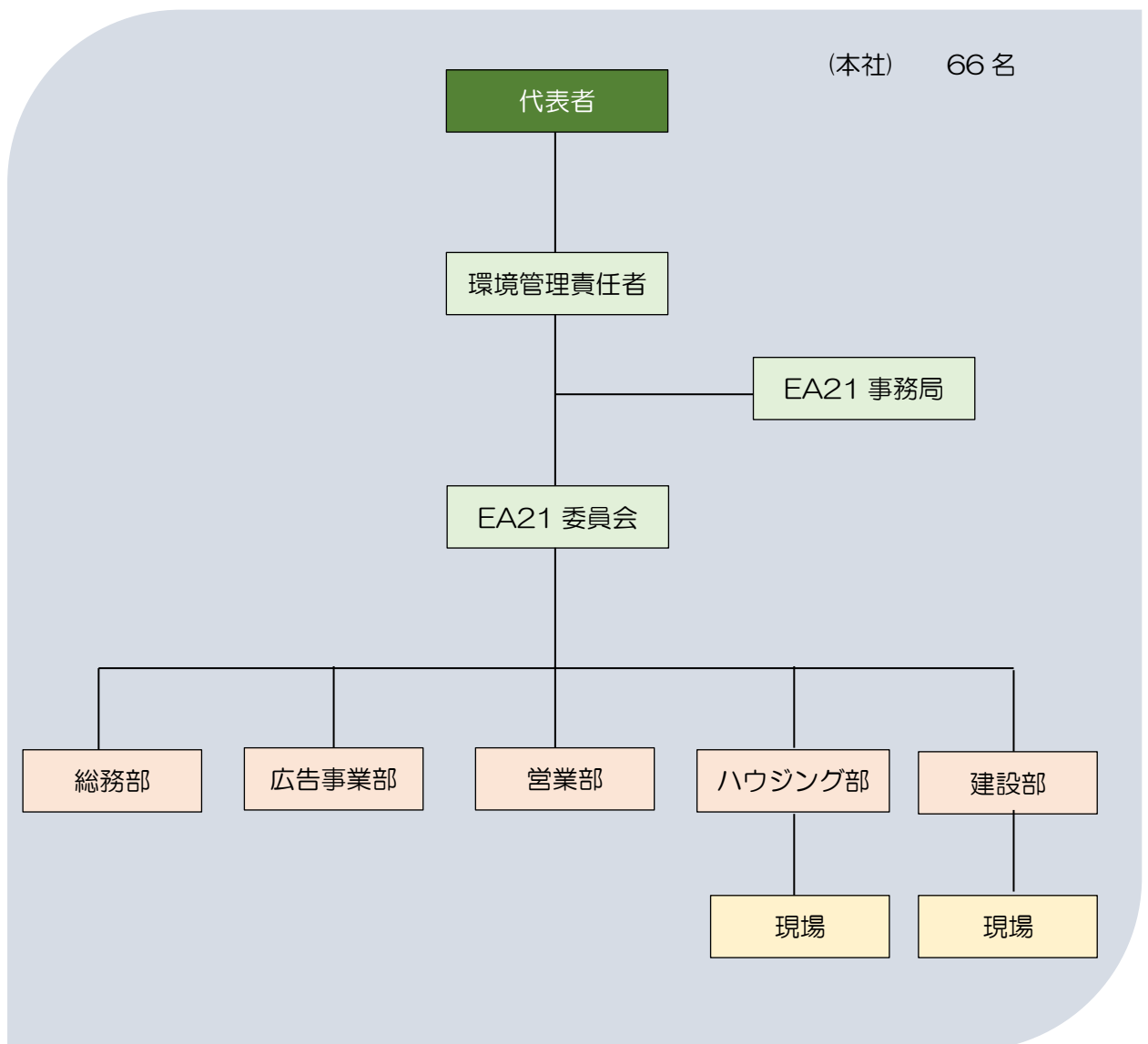
### (1) 対象事業所

本社

### (2) 対象活動

建築物の設計・施工及び広告物の設計・施工

### (3) 実施体制



### 3. 環境経営方針

---

西鉄建設は、建設工事業を行う企業としての活動が、地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指し、以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

1. 事業活動に関わる環境関連の法規、条例等を遵守します。
2. 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
  - ① 地球温暖化防止のため、省エネルギー（電力及びガソリン使用量の削減）の推進により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - ② 廃棄物の削減及び適正処理の推進に努めます。
  - ③ 節水の推進に取り組めます。
  - ④ 化学物質を把握し、適正管理に努めます。
  - ⑤ 環境に配慮した商品の提供に努めます。
  - ⑥ 資機材のグリーン調達を推進します。
  - ⑦ 地域での環境活動に積極的に参加します。
3. この環境経営方針は、全従業員に周知します。

制定日：2010年10月1日

改定日：2017年7月1日

西鉄建設株式会社  
代表取締役 脇山 雅範

## 4. 環境経営目標

- 当社の事業活動特性を踏まえて、2019年度環境経営目標は本社、建設現場、全社にサイト区分して、以下に示す5項目10目標を定めました。
- 削減項目は、基準年（2016年度）実績値から毎年1%ずつ削減し、本年度は、基準年から5%削減を目指しました。

環境経営目標		単位	サイト 区分	基準年	単年度 目標	中期目標	
				2016年度 実績値	2017年度 (3%削減)	2018年度 (4%削減)	2019年度 (5%削減)
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> / 億円	全社	2,192	2,170	2,148	2,127
			本社	1,593	1,577	1,561	1,546
			建設現場	599	593	587	581
	(1)電気使用量の削減	kWh/億円	本社	1,137	1,125	1,114	1,103
			建設現場	1,137	1,125	1,114	1,103
	(2)ガソリン使用量の削減	L/億円	本社	430	425	421	417
2	廃棄物最終処分量の削減	t/億円	建設現場	20.27	20.06	19.85	19.65
3	水使用量の削減	m <sup>3</sup> /億円	本社	8.47	8.39	8.30	8.22
4	化学物質の適正管理	-	建設現場	SDSに基づき適正管理に努める			
5	グリーン購入の推進	品目数 (資機材)	建設現場	10	10	10	10

備考)・購入電力の二酸化炭素排出量は、九州電力(株)の2015年度調整後排出係数(0.528 kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いて算出しました。

・( )は、基準年に対する削減率です。

・1~3の環境経営目標は、売上金額1億円当たりの原単位です。

## 5. 環境経営目標の実績

- エコアクション21を運用した2019年度（2019年4月～2020年3月）における環境経営目標に対する実績は次のとおりです。
- 設定した環境経営目標5項目10目標のうち、廃棄物最終処分量の削減がわずかに目標を上回りました（目標達成率99%）が、その他の目標（4項目9目標）は全て達成し、最大の環境負荷である二酸化炭素排出量関係ではいずれも200%を超える目標達成率となっています。
- なお、二酸化炭素排出量の総量は2019年度が75,690kg-CO<sub>2</sub>で、前年度（2018年度=118,837kg-CO<sub>2</sub>）比で約36%の削減ができています。

環境経営目標	単位	サイト 区分	基準年	2019年度 (2019年4月～2020年3月)		目標 達成率	達成 状況 判定
			2016年度 実績値	目標	実績		
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> / 億円	全社	2,192	2,127	923	230%	◎
		本社	1,593	1,546	711	217%	◎
		建設 現場	599	581	212	274%	◎
(1)電気使用量の削減	kWh/億円	本社	1,137	1,103	479	275%	◎
		建設 現場	1,137	1,103	401	275%	◎
(2)ガソリン使用量の削減	L/億円	本社	430	417	198	211%	◎
2 廃棄物最終処分量の削減	t/億円	建設 現場	20.27	19.65	19.85	99%	△
3 水使用量の削減	m <sup>3</sup> /億円	本社	8.47	8.22	5.59	147%	◎
4 化学物質の適正管理	—	建設 現場	—	SDSに基づ き適正管理 に努める	SDSに基づ き適正管理 に努めた	—	○
5 グリーン購入の推進	品目数 (資機材)	建設 現場	10	10	10	100%	○

備考)・達成状況評価区分 ◎：120%≦目標達成率、○：100%≦目標達成率<120%、△：80%≦目標達成率<100%、  
×：目標達成率<80%、—：判定不可

・目標達成率の計算 削減目標の場合：目標÷実績×100 増加目標の場合：実績÷目標×100

## 6. 環境経営計画及びその取組結果とその評価

- 2019年度の環境経営計画と具体的取組の実施状況は以下のとおりであり、全取組が適切に実施できました。
- 環境経営計画には、環境経営目標には掲げずに、自社独自のとして「環境に配慮した商品の提供」と、「地域貢献活動」として職場周辺の清掃活動にも取り組みました。今後も全社を挙げてこれらの取組を継続していきます。

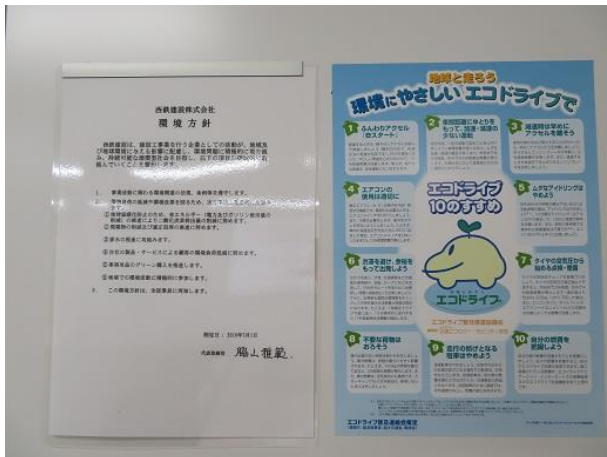
### 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価
(1) 電力使用量の1%削減	本社	◎	① エアコンの設定温度(夏 28℃、冬 20℃)を実行する	○	<現状> ・節電の取組は、本社事務所、建設現場ともに適切に実施され、環境経営目標も高いレベルで達成している。 ・エコドライブ等ガソリン使用量の削減取組も実施されており、同様に目標を達成し、結果として二酸化炭素排出量の目標を達成出来た。
			② クールビズ・ウォームビズの実施	◎	
	建設現場	◎	③ 昼食時・不使用時消灯	○	
			④ 長時間離席時・帰宅時パソコン電源 off	○	
(2) ガソリン使用量の1%削減	本社	◎	① エコドライブ 10 のすすめによる運転方法の励行	◎	<今後> ・引き続き取組を継続する。
			② 定期点検の着実な実施	◎	
			③ 公共交通利用による社有車の使用削減	◎	
			④ 社有車を低燃費・低公害車へ切り替える	○	

備考) ・目標達成状況判定区分 ◎：120% ≤ 目標達成率、○：100% ≤ 目標達成率 < 120%、  
 △：80% ≤ 目標達成率 < 100%、×：目標達成率 < 80%、—：判定不可  
 ・取組実施状況判定区分 ◎：よく実施できている(定着)、○：実施できている、△：概ね実施できている、  
 ×：実施できていない、—：判定不可

【環境方針・エコドライブ 10 のすすめ】

【エアコン設定温度 夏 28℃・冬 20℃】

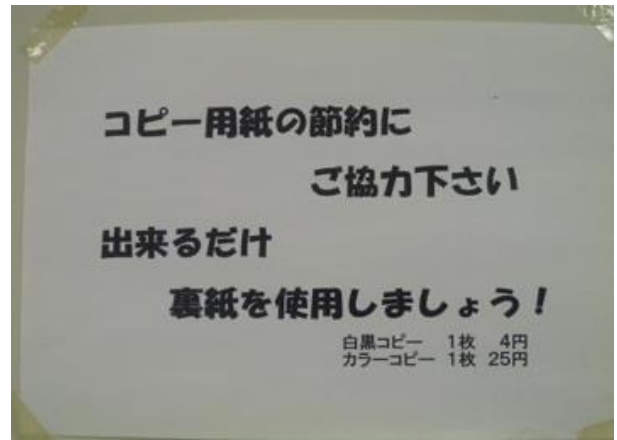




## 2. 廃棄物最終処分量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価
(1) 廃棄物最終処分量の1%削減	建設現場	△	①建設汚泥含水量の低減	○	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は目標を僅かに上回った。</li> </ul> <p>&lt;今後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成に向け各現場の取組を徹底する。</li> </ul>

【本社での紙回収ボックスの設置およびゴミの分別】



## 3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価
(1) 節水活動	本社	◎	①節水の啓発	○	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節水行動は定着し、目標を達成できた。</li> </ul> <p>&lt;今後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き取組を継続する。</li> </ul>

## 4. 化学物質の適正管理

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価
(1) 化学物質の適正管理	建設現場	○	①SDSの取寄せ、備え置きによる適正管理	◎	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各現場で取組は適切に実施されている。</li> </ul> <p>&lt;今後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き取組を継続する。</li> </ul>

## 5. グリーン購入の推進

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価
(1) 資機材のグリーン調達	建設現場	○	① 環境に配慮した資機材の調達に努める	○	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各現場での取組は適切に実施されている。</li> </ul> <p>&lt;今後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き取組を継続する。</li> </ul>

## 6. 環境に配慮した商品の提供（自社独自の取組）

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価
(1) 環境負荷低減商品の提供	建設現場	—	① 環境負荷低減策提案の推進	○	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各現場での取組は適切に実施されている。</li> </ul> <p>&lt;今後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き取組を継続する。</li> </ul>

## 7. 地域貢献活動の推進（自社独自の取組）

取組目標	サイト区分	目標達成状況	具体的取組	取組実施状況	評価
(1) 地域での環境保全に貢献する	全社	—	① 職場周辺の地域清掃活動	○	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予定通り実施できた。</li> </ul> <p>&lt;今後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き取組を継続する。</li> </ul>

【現場周辺の清掃活動など】



## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

- 2019年度事業活動に対して、当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

環境関連法規	要 求 事 項	遵守判定
廃棄物処理法	保管基準の遵守	○
	管理票（マニフェスト）の交付・保管	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
	産業収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	○
	多量排出事業者の義務	○
	投棄・焼却禁止	○
建設リサイクル法	建設業等を営む者の責務	○
	分別解体等実施義務	○
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	○
	再資源化等実施義務	○
	発注者への報告等	○
	下請人に対する元請業者の指導	○
資源有効利用促進法	再資源利用計画の作成、記録及び保存	○
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業実施の届出	○
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	基準適合車の使用	○
	適正燃料の使用（軽油）、点検・整備の励行	○
石綿障害予防規則	作業計画作成	○
	工事受注者への情報提供義務	○
建築基準法	石綿含有その他の物質の飛散または発生に対する衛生上の措置	-
	石綿含有及びクロロピリホス添加建材の使用禁止 ホルムアルデヒドに関する規制	○
騒音規制法	規制基準の遵守	○
	特定建設作業の事前届出	○
振動規制法	規制基準の遵守	○
	特定建設作業の事前届出	○

備考) 遵守判定区分 ○：遵守、×：不遵守、-：該当無し

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

---

### (1) 取組状況の全体評価

- エコアクション21への取り組みを通して、社員一人一人の環境に対する意識は高まり、定着している。
- 昨年度より、環境方針に化学物質の適正管理を加えているが、建設現場で継続しているSDS（安全データシート）の活用など、さらに環境への安全、配慮に取り組んでいきたい。
- 会議等でも、ペーパーレス化を推進し、プロジェクター等を使用し、意識改革をおこなっている。今後、業務内で、さらにペーパーレス化出来るものは積極的に取り組んでいきたい。
- ガソリン使用量については、引続き、エコドライブの実践、給油および走行データの記録、リース車を順次ハイブリッド車に切り替えるなどにより目標達成に取り組んでいきたい。
- 電気使用量についても、本社については、昼休み、通路部分の消灯、エアコン設定温度の徹底、クールビズの取り組み等が確実に実行されており、目標達成できているが、現場もエアコンの設定温度の取り組み等実行されており、今後も各自意識して、引続き目標達成に向けて取り組んでいきたい。

### (2) 見直しの結果

- 本年度は決められた取組が適切に実施され、環境経営目標の達成状況も極めて良好との結果となりました。
- 取組が定着し、運用成績も良好のため、次年度も計画の主要部分（環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画等）の見直しは行わないこととしました。
- ただし、新ガイドラインへの移行作業の中で見直しが必要なものは計画の見直しに取り組みます。



西鉄建設株式会社  
代表取締役 脇山 雅範